

2014年10月20日

音楽情報誌『CD & DLで一た』発表。 傷ついた心に響く「失恋ソング」ランキング。

～1位は「M」プリンセス プリンセス、2位は「もう恋なんてしない」槇原敬之～

秋も深まり、肌寒い季節となりました。株式会社KADOKAWA エンターブレイン ブランドカンパニーの音楽情報誌『CD & DLで一た』は、10～40代の男女を対象とした、失恋した時に聴きたい「失恋ソング」ランキングを発表します。(調査期間：2014年9月8日～9日)

●あなたが失恋した時に聴きたい「失恋ソング」は？ 総合ランキングTOP20

設問：あなたが失恋した時に聴きたい曲（失恋ソング）はなんですか。

※曲名とアーティスト名、またその理由やエピソードもあわせて教えてください。

有効回答者数 n=1110人

	曲名	アーティスト名
1	M	プリンセス プリンセス
2	もう恋なんてしない	槇原敬之
3	元気を出して	竹内まりや
4	366日	HY
5	さよなら	オフコース
6	会いたくて 会いたくて	西野カナ
7	失恋レストラン	清水健太郎
8	サウダージ	ポルノグラフィティ
9	First Love	宇多田ヒカル
10	わかれうた	中島みゆき
11	オリビアを聴きながら	杏里
12	片想い	浜田省吾
13	負けないで	ZARD
14	Over	Mr.Children
15	リフレインが叫んでる	松任谷由実
16	サンキュ.	DREAMS COME TRUE
17	難破船	中森明菜
18	駅	竹内まりや
19	会いたい	沢田知可子
20	NAO	HY

【今回の調査結果について】

季節も移り変わり、肌寒い日が増えてきました。なんとなく物悲しく、人恋しくなるこの季節、ふと物思いにふけり、過去の失恋に思いを馳せる、なんてこともあるのではないのでしょうか。今回『CD&DLで一た』では、10～40代の男女を対象とした、「失恋ソング」のランキングを発表します。



総合ランキング1位はプリンセスプリンセスの「M」

総合ランキング1位は、「M」(プリンセスプリンセス)で、30～40代、特に女性の圧倒的な支持を集めました。“学生時代失恋した時に聴いた曲”、“歌詞がそのまま身に染みる”といったコメントとともに、“失恋した人のイニシャルがMだった”という、この曲ならではの思い入れのあるコメントも挙げられました。一方、2位の「もう恋なんてしない」(槇原敬之)は、世代を問わず男性からの得票を多く集め、“友人が失恋した時に歌って励ました”、“歌詞に共感できる”といったコメントが寄せられました。

また、今回は特に女性のランキングにおいて、世代別の傾向が顕著に表れました。

30～40代女性の定番「失恋ソング」として、「M」(プリンセスプリンセス)、「元気を出して」(竹内まりや)が挙げられたのに対し、10～20代女性については、「366日」(HY)、「会いたくて 会いたくて」(西野カナ)が上位にランクインする結果となりました。ここ数年、ラブソングと言えば…ということで定評のある西野カナの「会いたくて 会いたくて」は、“失恋ソングといって真っ先に思い浮かぶ”、“彼氏に振られた時に聴いていっぱい泣いた”といったコメントとともに、特に20代女性の高い支持を集めました。



20代女性に人気の西野カナ

そのほか興味深いこととしては、「非シングル曲」が多くランクインしていることが挙げられます。「M」(プリンセスプリンセス)、「駅」(竹内まりや)はもともとシングルのカップリング曲、「366日」(HY)、「Over」(Mr.Children)はアルバム収録曲です。どの曲も人気が高いので、誰しも耳にしたことがある楽曲だと思えますが、ちょっと意外な傾向と言えるでしょう。

さらにランクインした曲の発表年度を見てみると、1970年代と1980年代が5曲ずつ、1990年代が6曲、2000年代が3曲、2010年代が1曲となっています。CDの売上減少とリンクしているとも捉えられますが、発表年度が古い楽曲に関しては、ここ数年のカバーブームによって歌い継がれてきているとも言えます。なかにはオリジナルではなく、カバーで知った、というようなパターンもあるのではないのでしょうか。

さて、今回の「失恋ソング」ランキングはいかがでしたでしょうか。

思いっきり泣いて浸りたい、傷ついた心をそっと癒したい、曲を聞いて励まされたい、前向きな気持ちで次の恋に進みたい等々…それぞれの「失恋」時における思い入れは様々ですが、名曲・名カバーが多数ランクインする結果となりました。

心に響く「失恋ソング」、秋の夜長のお供として、よかったらぜひ聴いてみてください。

【調査概要】

調査対象：自社で運営する eb-i の20万人のパネルを基に、全国47都道府県の10歳から49歳までのエンタメ接触ユーザーを抽出し、1110人(男性 536人、女性 574人)から回答を得た。

調査手法：インターネットによるWeb調査

調査期間：2014年9月8日～9日

【eb-iとは】

『eb-i(Entertainment Business Insight)』は、株式会社KADOKAWA エンターブレイン ブランドカンパニーが2013年1月より週単位で継続して行っている、エンターテインメント分野の消費動向調査です。保有している全国20万パネルから週次で1万超を回収し、エンターテインメント分野の実態を調査・分析しています。

【『CD&DLで一た』について】

創刊27年目となる、“音楽がもっと好きになる”音楽情報誌(奇数月14日発売)。J-POPを中心としたアーティストのロングインタビューやコラムなど、様々なコンテンツを取り扱っています。

次号は11月14日に発売予定です。

CD&DLで一た



ミュージシャン応援音楽マガジン
CD&DLで一た



ダンス&ボーカルボーイズグループ専門誌
BOYS ON STAGE



“面押し”ガールズコレクションブック
My Girl

株式会社KADOKAWA
エンターブレイン ブランドカンパニー

KADOKAWA公式サイト：<http://www.kadokawa.co.jp/>

エンターブレイン公式サイト：<http://www.enterbrain.co.jp/>